

制限のないキャリアストーリー

UNLIMITED CAREER STORY

高専生採用BOOK



INDEX

つくる
発電



01



再生可能エネルギー部門

P6 - 9

中部電力

02



原子力部門

P10 - 13

中部電力

おくる
電力ネットワーク



03



系統運用/送変電部門

P14 - 17

パワーグリッド

04



配電部門

P18 - 21

パワーグリッド

05



電子通信部門

P22 - 25

パワーグリッド

とどける
販売



06



技術コンサルティング部門

P26 - 29

ミライズ

ささえる



07



土木部門

P30 - 33

中部電力

パワーグリッド

08



建築部門

P34 - 37

中部電力

パワーグリッド

MESSAGE

あなたのキャリアは、 無限大!!

中部電力の技術者は、高専卒も大卒も関係なく、
責任ある仕事を任せられ、前向きなキャリアを歩んでいます。
設計技術を極める仕事、電力設備を運用する仕事、
協力会社や関係者をマネジメントする仕事など
活躍するフィールドはさまざまですが、
自分が実現したい目標に向かって奮闘しています。
また当社は多様性の重視を宣言しており、
結婚や子育てによってキャリアが制限されることなく、
ライフステージに応じた働き方で、成長し続けています。

MESSAGE

高専生だからこそその
実践的な学びを、
即戦力として活かす。

電気電子系・機械系・情報通信系・建築系・土木系など
さまざまな分野を卒業した社員が活躍しています。

学生時代の学びを技術力の土台にしつつ、入社後に新たな学びを上乗せし、
即戦力として活躍してほしいと期待しています。

MESSAGE

電力というインフラを 支える使命感と充実感。

電力は、暮らしに必要不可欠なインフラであり、
日本の産業を根底から支える基盤でもあります。
さらに水力発電や風力発電など、再生可能エネルギーの活用により
地球環境にも大きく影響する業界です。
中部電力には様々な部門がありますが、共通して無くてはならない
インフラを支える使命感と充実感を味わうことができます。

再生可能エネルギー部門

再エネ発電設備の
稼働を守り、
持続可能な未来を。

水力、陸上風力、太陽光、バイオマスといった、持続可能な社会に寄与する約200の発電所の運営や新規開発を行う部門。発電量の増加や、洋上風力や地熱といった新たなエネルギー源の開発にも挑んでいます。

本店 再生可能エネルギーカンパニー
愛知水力センター 技術課

Kodai Makizawa

榎澤 洸大 2012年入社

機械工学科卒業／徳島県出身

入社動機

非常時に見た挑戦する姿勢に憧れた。

徳島県出身の私は、祖父の出身地である中部エリアを身近に感じて育ち、漠然と中部電力を将来の就職先候補として考えていました。高専在学中に福島第一原子力発電所の事故が起きた際、中部電力は浜岡原子力発電所の稼働停止を迫られる、大きな困難に直面したことを知りました。それでも既存の火力発電所など他の電源をフル稼働させて電力インフラを守り抜く、前向きで柔軟な挑戦に憧れと共感を覚えました。数ある電力会社の中でも、そんな中部電力で知識と技術を活かして社会に貢献したいと思い、入社を決めました。



仕事内容

水力発電所の設備を健全に保つ。

愛知県を中心としたエリアにある水力発電所のメンテナンスを行う部署で、おもに水車発電機と油圧装置など付随する装置の取替工事を担当しています。機器が不調な場合には、部品交換か機器取替かを検討して物品の手配や作業項目の決定を行い、工事の全体像を決めるのが私の役割です。運転開始から90年を経た愛知県豊田市にある黒田発電所の水車発電機取替工事にも携わりました。設備を正常に維持し効率的に運用することで、再生可能エネルギーをより多く生み出し収益を向上させる役割を担っています。



仕事のやりがい

レベルの高い仕事で成長を続けられる。

水力発電は流体力学など専門的な知識が求められる分野で、最初は用語一つにも苦戦しました。水中の土砂で水車が摩耗するような独特の現象もあり、水車発電機メーカーの研修に参加して知識を吸収しました。新技術の導入が積極的に行われるため仕事のレベルが高く悩むこともありますが、そのたびに専門性を磨き自分の成長を実感できます。設定した期間内に無事故無災害でプロジェクトを達成できた喜びは格別です。フレックスタイムやテレワークも活用できライフスタイルに合わせて働けることもやりがいにつながっています。



CAREER PATH

水力発電の専門性を高めるほど、責任感とやりがいは大きくなる。

2012年4月～2016年7月

水力発電の基礎を学ぶ

水力発電所の巡視点検や修繕工事業務を通じて、水力発電に関する基礎を学びました。また、深夜に起きた障害への対応も経験し、電力に携わる者としての使命感を持つようになりました。

2016年8月～2019年7月

細密点検工事を担当

水車発電機を分解して劣化状況を点検し修理する「細密点検工事」を担当し、以前の仕事より一段上の専門性を身につけました。請負業者などへの対応も任せられ、会社を代表する責任を自覚しました。

2019年8月～

発電所のリブレース

発電所の水車発電機を取り替えるリブレース業務を担当。海外製の発電機を相手に、日本製との思想や基準の違いを乗り越え運用開始にこぎつけたときは、感動しました。

01

再生可能エネルギー部門

制御やプログラムの
スキルを
フルに発揮。

本店 再生可能エネルギーカンパニー
水力事業部 運用・システムグループ

Tatsuki Mizuma

水間 達樹 2014年入社

電子制御工学科卒業／宮城県出身



中部電力では、発電所の制御システムを社員自ら考案してメーカーと共同開発していると知り、電子制御の知識を活かせると考えて入社しました。入社3年目からは、まさにそんな知識を活かし、水力発電所の制御システム開発を経験しました。現在は、情報系システムを活用したDX(デジタルトランスフォーメーション)担当として、報告書を自動作成するシステムの開発に取り組んでいます。電気系や機械系だけでなく、システム系の技術者も求められる中部電力で、社内の業務変革を牽引できるDX技術者をめざします。

CAREER PATH

2014年4月～2020年12月 システムの設計・開発

発電所や変電所の保守業務で現場を学んだ後、水力発電所の遠隔制御システムの設計から現場で運用開始されるまで携わりました。

2021年1月～ 部門全体のDXを担当

情報系システムを活用したデータ分析や業務効率化のDXに挑戦。

ともに働く仲間や
世の中に
システムで貢献。

本店 再生可能エネルギーカンパニー
岐阜水力センター 技術課

Keito Yuasa

湯浅 圭音 2021年入社

機械工学科卒業／兵庫県出身



水力発電所には水車発電機の他に、圧油装置や給水装置などの設備があります。それらの圧力や油面位置、電流などを、現地へ行かずに事務所のPCから遠隔監視できるシステムの設計や工事管理を担当しています。収集データの項目やセンサの種類、現場での設置位置などを考えて設計した設備が実際に現場で形になる楽しさと、人手不足を解消し部署で共に働く仲間を楽にできるやりがいがあります。手がけたシステムを活用し、設備障害の早期復旧や不具合の予兆診断などで水資源の有効活用に日々取り組んでいます。

CAREER PATH

2021年4月～2022年3月 水力発電の現場を理解

水力発電所の現場を自分の目で見て点検し、発電設備の知識を習得。その後、消防設備の点検も担当し、知識を広げました。

2022年4月～ 大規模な保守支援装置の設置工事

導入設備の仕様決めから施工管理まで一貫して任されています。

原子力部門

原子力発電の

安全性を高め

脱炭素を後押しする。

資源の乏しい日本で、持続可能で豊かな暮らしを実現するには、多様な電源が不可欠です。原子力部門では、プラントの安全性向上や、管理技術の高度化の他、浜岡1・2号機の廃止措置にも取り組んでいます。

本店 原子力本部 原子力部
安全技術グループ

Takuya Fujinaga

藤永 琢也 2016年入社

電気工学科卒業／山口県出身

入社動機

原子力発電所の必要性和社員の姿勢に惹かれた。

もともと電力会社に興味がありましたが、高専に入学した年に起きた福島第一原子力発電所の事故を機に、原子力発電に関心を持ち、中部電力のインターンシップに参加しました。少ない燃料で膨大な電力を生み出せる原子力発電の必要性や、事故を受けて計画された高さ20m超の防波堤など、これでもかというほど徹底した安全面の努力を知り、入社を志望しました。社員の方たちの温かい人間性や、「世界一安全な原子力をつくる!」というプロフェッショナルリズムに感銘を受け、自分もその一員になりたいと思ったことも大きな理由です。



仕事内容

数百年に一度の災害にも耐える設計を検討。

浜岡原子力発電所は2011年以来、全炉を停止して南海トラフ地震に備えた安全性向上を図り、再稼働をめざしています。私は屋外設備の安全対策を担当しており、台風の被害を防ぐ雨水排水設備や竜巻による飛来物で損傷しない建物など外部要因によって安全性が損なわれない屋外設備の設計を検討しています。他にも低温や落雷といった自然現象による被害や、航空機落下までも考慮してごくまれにしか起きない事象に対してもリスクを評価して設計条件に反映し、今後の発電所内の屋外設備に関する設計のベースをつくり上げます。



仕事のやりがい

浜岡原子力発電所の再稼働に関わる責任感。

例えば積雪は、温暖な浜岡ではめったになく、過去の最大積雪量は6cmでした。ところが文献を調べると、それ以上積もる可能性もゼロではないと分かり、上司に相談して対策を強化しました。国の審査は厳しく、その分、社内会議でも厳しいフィードバックをもらいますが、順調に検討から社内会議、審査へとステップが進むと達成感があります。再稼働が実現すれば、国が掲げる多様な電源のベストミックスとCO₂削減に貢献できます。安全性への責任は重くプレッシャーもありますが、それ以上のやりがいと使命を感じながら仕事に臨んでいます。



CAREER PATH

運転業務や安全対策の経験を経て、原子力のスペシャリストへ。

2016年4月～2016年5月

原子力の基礎を学ぶ

原子力部門に配属。同じ部署の新入社員全員が浜岡原子力発電所の研修センターに集まり、1カ月間にわたる学びで、原子力発電の基礎知識やノウハウをしっかりと身につけました。

2016年5月～2021年3月

運転業務を経験

現場での巡視点検や機器動作定例テスト、シミュレータ設備を用いた事故時の訓練を経験。発電所設備の運用など幅広い知識を習得し、チームワークやコミュニケーションの重要性も学びました。

2021年4月～

安全対策を担当

台風や航空機落下といった、屋外設備の設計時に考慮すべき事象の検討業務を担当。現場で得た学びを活かしながら、新たな技術や知見へのアンテナを高くして情報を収集することも心掛けています。

02 原子力部門

様々な専門分野を
持った仲間と
技術を高め合う。

本店 原子力本部
原子力部 設備設計グループ

Ryojiro Nakayama

中山 諒司郎 2018年入社

電気電子工学科卒業／福岡県出身



高専では電気分野の専攻だったので、学んだ内容を活かせる仕事がしたいと考え、電力会社を選びました。現在は、浜岡原子力発電所の非常用電源が万が一、喪失した場合に使用する、蓄電池の設計を担当しています。学生時代に学習した電気に関する知識を活用できる部分が多く、過去に学んだ内容を思い出しながら業務に取り組んでいます。共に働くメンバーには機械系・計装系・耐震系など様々な専門分野を持った社員がいます。自分が学習してきた分野以外の知識に触れることができる点も魅力だと感じます。

CAREER PATH

2018年4月～2020年3月 点検や補修を経験

新入社員研修後、プラントの点検や電動機類の補修を通じて、発電所の機器配置や系統構成、劣化特性といった技術面を学びました。

2020年4月～ 非常用設備の設計を担当

法令の知識も学び、非常用蓄電池の設計に取り組んでいます。

水質を管理し
原子力設備の
異常を防ぐ。

本店 浜岡原子力発電所 発電部
運転管理課 水質管理グループ

Miyabi Yokoyama

横山 みやび 2022年入社

電気情報工学コース卒業／青森県出身



原子炉の水や機器・設備の冷却水などの水質管理を担当しています。水質悪化の傾向がみられる場合には、追加の水質測定や運転操作履歴の確認、過去の変動実績の調査を行い、原因を特定し改善措置を講じます。原子炉や原子燃料に接している水の場合、水質の悪化が原子力施設や燃料の健全性に悪影響を及ぼす可能性や、原子炉周辺の放射線レベル上昇の要因となるため、責任を持って業務に取り組んでいます。上下の風通しがよく、会社全体でも業務の改善活動を推進しており、前例がないことへ積極的に取り組める環境で業務に励んでいます。

CAREER PATH

2022年4月～2023年1月 設備の基本を学ぶ

巡視点検業務で、現場の機器配置や設備に関する基礎知識を学びました。

2023年2月～ 技術を磨き化学管理に携わる

発電所から放出する廃液や排気の管理業務で放射性物質濃度などの測定・分析方法を学び、今は発電所で使用している水の水質管理を任されています。

系統運用/送変電部門

中部エリアの内外に
途切れることのない
送電網を築く。

発電所で生み出された電力は、段階的に電圧を下げながらお客さまに届けられます。そのために必要な設備のうち、超高電圧・大電流を扱う送電線の建設・維持を担っています。

中部電力パワーグリッド
基幹系統建設センター 送電施設グループ

Ibuki Tanaka

田中 伊吹 2016年入社

環境都市工学科卒業/石川県出身

入社動機

社会に不可欠なインフラへの興味。

高専では土木系を専攻して社会基盤に関することを学び、卒業後はインフラ設備に携わりたいと考えるようになりました。社会に欠かせないインフラ系企業なら、経営が安定していると思ったことも理由です。建設やガスなどさまざまな選択肢がある中で強く惹かれたのが、毎日の生活はもちろん、産業の発展にも欠かせない電力でした。入社後、送電の仕事に携わっていますが、その仕組みを学ぶにつれて、電力供給ネットワークの壮大な規模と、想像以上に多くの人々によって支えられていることに驚き、電力を届ける仕事の意義を強く感じています。



仕事内容

日本の電力網を強化する国家プロジェクト。

発電所や変電所を結ぶ送電線のうち、主に275kV以上の超高圧送電線の工事を担当する部署で、中部－関西間の500kV送電線建設工事を担当しています。再生可能エネルギーによる電力をエリアを越えて送るための電力網を強化する国家プロジェクトにおいて、検討段階から設計、工事管理まで一貫して携わっています。プロジェクトの開始間もない今は、送電線が通るルートや費用、施工難易度の面で最適な設備、鉄塔の位置・高さ、細かいところでは電線を張る強さなどを検討し、確かな根拠に基づいて一つひとつ決定していく段階です。



仕事のやりがい

目に見える成果とスケールの大きさ。

自分で設計・施工管理をした送電設備が完成し、電気が流れた瞬間は、電力を届けているという誇りと達成感を味わえます。また、鉄塔や送電線が目に見える形で残るため、車で近くを通りかかった時や、地図アプリの航空写真で確認できた時は喜びを感じます。現在進行中の工事のような国家プロジェクトや、国内でも数少ない500kVの高電圧設備に携われることもやりがいを感じます。中部エリアで行う工事が、実は他の電力会社と連携した全国的なインフラづくりであるというスケールの大きさも含めて魅力に感じます。



CAREER PATH

保守点検から、工事へ。そしてより大きな工事の担当に。

2016年4月～2019年7月 送電線の保守を経験

送電線の巡視や自ら鉄塔に昇っての点検では、送電設備の異常を発見する目を養いました。送電線付近で工事が行われる際、送電線へのクレーン接触事故を防ぐための社外への説明も経験しました。



2019年8月～2021年7月 小規模工事に携わる

送電設備の補修や塗装、劣化電線の張り替えなどの33kV～154kVの小規模工事業務を経験。送電設備の設計や構造、維持管理方法を習得しました。



2021年8月～2024年7月 超高圧鉄塔工事を担当

より大規模な275kV超高圧鉄塔建替工事を経験。電圧の違いによる設備規模の違いを知り、作業員の方とコミュニケーションを取りながら工事の施工方法を学びました。



2024年8月～ 超高圧送電線の設計

500kVの超高圧送電線の建設工事で、新設する送電線の調査・設計を担当。今までの経験を活かして、さらにスケールの大きい仕事に挑んでいます。

変電所の保守は
多くのお客さまを
支える。

中部電力パワーグリッド
名古屋支社 変電グループ

Megumi Obata

小畑 恵美 2021年入社

電気電子工学科卒業/静岡県出身



日常生活で目にすることのない大型の設備や、秘密基地のような地下変電所の保守を担当しています。変電所の設備について、メーターや試験器の他、自分の視覚や聴覚、嗅覚を使って正常かどうかを確認し、故障発生時には速やかに復旧対応を行います。変電所は33～500kVと非常に高電圧です。大規模な変電所では供給先も多岐に渡り、暮らしを支えている実感があります。専門知識が豊富な先輩から同年代まで、幅広い年齢層の仲間と刺激し合いながら取り組んでいます。

CAREER PATH

2021年4月～2023年6月 変電保守と工事業務の基礎を習得

保守業務では変電業務の基礎を学びました。また、工事業務では、蓄電池取替にも携わり、様々な工程や打合せ、多くの書類作成が必要となることを学びました。

2023年7月～ 保守業務の主担当として

変電所の設備を制御する装置や、故障箇所を切り離す保護装置に携わり、知識を深めています。

再エネ時代の
電力品質を
守る方法を模索。

中部電力パワーグリッド
系統運用部 系統技術G

Taiki Masuda

桒田 大樹 2016年入社

電気情報工学科卒業/和歌山県出身



中部電力パワーグリッドは、火力や水力、原子力、再生可能エネルギーから発電した電力を届ける大規模な電力系統を持ち、関西や関東と系統連系しているという面で重要な役割を担っているため、多彩な経験ができると期待して入社しました。現在は、電力品質維持の取り組みを担当しています。発電量の不安定な再生可能エネルギーによる電力が送電網に流れ込むと電力品質が低下するため、同じ課題を持つ他の電力会社とも積極的に意見交換しながら対策を立案し、当社の運用に反映します。新たな発想で対策を実行して、安定供給に貢献できるのがやりがいです。

CAREER PATH

2016年4月～2017年7月 変電所の保守・点検業務

現場で実物に触れて、設備の仕様など基礎を学びました。

2017年8月～ 電力品質維持策の立案・実行に携わる

電力品質を維持するための対応策立案・実行を担当。途中で電力設備の監視・運転も経験し、安定供給への貢献を実感できました。

配電部門

安全・安心な

電気を

お客さまのもとへ。

発電所から運ばれる電気を、お客さまの元へ安全・安定的にお届けするのが配電部門です。電柱・電線の設計・工事から、停電や漏電時の復旧対応までを担う、お客さまにいちばん近い部門であり、お客さまのくらしを支えるため一丸となって取り組んでいます。

中部電力パワーグリッド
名古屋支社 配電建設グループ

Akimi Watanabe

渡邊 秋美 2011年入社

電子制御工学科卒業／富山県出身

入社動機

お客さまと直接関われるのが魅力。

来校された高専の先輩から説明を聞いたとき、生活に必要不可欠な電力会社の仕事がとても魅力的に感じました。さらにその中でも、お客さまへ電気を届ける配電部門では、お客さまと直接関わることができるを知って、強く惹かれました。私の専攻は電気工学ではなく電子制御なので不安もありましたが、研修を通じて配電の仕事を基礎から学べると知って安心し、入社を決意しました。実際、入社後の研修は、1年をかけて基礎から学ぶことができる充実した内容で、電気系出身者に負けないよう一生懸命取り組んだため自信を持って業務に臨めています。



仕事内容

変電所とビルや住宅を配電線でつなぐ。

研修後は、電気をお届けするための配電設備の設計や工事を行う建設部署で仕事をしました。一般的な架空方式、都市中心部の地中方式のどちらも経験することができ、幅広い知識を身につけることができました。また業務範囲としても、設計から施工管理までの一連を任せられやり遂げることができました。現在は主に名古屋市内の配電線工事全体の物量や施工力、コストを管理する業務を担っています。いろいろな部署で学んでキャリアアップしたいという希望を汲み取っていただき、新しい業務に挑戦させてもらっています。



仕事のやりがい

建物に電気が届き、喜びの言葉が聞ける。

工事が完了するたび、「このビルや住宅、街全体に、電気を送る仕事をしたんだ!」と実感でき、社会の基盤を支える重要な電力供給で貢献しているやりがいを感じます。また、災害時には安全第一で関係者が一丸となって、一秒でも早く電気をお届けするために力を尽くします。お客さまからお礼を言われたときは、社会に貢献している充実感からこの仕事を選んでよかったと感じます。台風で大規模に被災したエリアへ設備復旧の一員として出向した際に、地域住民の方々から「遠くから来てくれてありがとう」とうれしい言葉をいただけたのは、お客さまに近いこの部門だからこそだと思います。



CAREER PATH

設計や工事の仕事から総括の仕事へ、キャリアチェンジ。

2011年4月～2015年7月 配電設備の設計から スタート

1年間の研修で設備や業務内容を学び、新設のお客さまへ電気をお届けする架空線設計業務を担当。調整がうまくいかずお客さまにお叱りを受け、責任を自覚しました。



2015年8月～2019年7月 架空線の経験を活かし 地中線の設計・工事へ

架空線設計の経験を活かし、地中線の設計・施工管理を経験。名古屋市内の大きなビルの受電に携わる仕事は、苦労も大きかった分、やりがいを感じました。



2019年8月～2023年6月 「作る仕事」から 「守る仕事」へ

設備建設に関わる仕事から、完成した設備の保守担当に。夜間、休日での配電線故障の復旧指令に携わったことで、ますます責任を実感しました。



2023年7月～ 施工会社と一体で 取り組む工事総括へ

名古屋市内の施工会社3事業場の窓口を一手に担い、安全で、品質よく、効率的に施工いただくことを常に考え、日々奮闘中。目標工事数の達成やコストダウンが目標です。

04 配電部門

次世代スマート メーターシステムの 開発に挑む。

中部電力パワーグリッド
本社 配電部 配電系統高度化グループ

Yuto Iguchi

井口 裕斗 2015年入社

電子システム工学科卒業／徳島県出身



電気の使用量を測定し、データを送受信できるスマートメーター。次世代スマートメーターシステムの開発では、再生可能エネルギーをはじめとする分散型エネルギーリソースを、送配電網に適切に取り込むことや、災害復旧時におけるデータの活用をめざしています。自分の仕事が電力インフラの安定供給と高度化、そしてカーボンニュートラルの実現につながることに使命感とやりがいを感じています。配電網の高度化に精通し、次世代スマートメーターや通信ネットワークを活用して、社会とともに成長するシステムを構築できる人財をめざします。

CAREER PATH

2015年4月～2021年7月 **保守や設備管理を現場で学ぶ**
営業所で系統保守業務や設備管理業務、計器業務を経験。
電力インフラを守ることは、地域の生活と発展を守ることだと学びました。

2021年8月～ **保守担当者の教育などを経て現職へ**
周囲の協力を得て進める仕事で、物事を広い視点で見られるようになりました。

設計したものが 街の風景にとけ込み、 暮らしを支える。

中部電力パワーグリッド
静岡支社 配電建設グループ 設計担当

Sho Kabasawa

栴澤 翔 2021年入社

電気工学科卒業／北海道出身



高専で学ぶ中で、電力の安定供給や効率的なエネルギー利用に強い関心を持ちました。住宅や工場へ電気を送る電柱や電線といった架空配電設備の設計は、まさに希望した通り、安全で効率的な電力供給をめざす仕事。お客さまや地域の方々とコミュニケーションを図りながら現地調査を行い、納得いただける最適な配電ルートや資材を決め、図面を作成します。私が設計した電柱や電線が人々の生活を支え、よりよい街づくりに貢献しているというスケールの大きさに日々やりがいを感じています。

CAREER PATH

2021年4月～2024年7月 **架空配電設備の設計を担当**
お客さまニーズを設計に反映させるには、技術だけでなく、
コミュニケーションによる信頼関係構築や責任感が重要だと学びました。

2024年8月～ **設計業務を深掘り**
電力インフラの設計と運用に関する専門性を磨くことが目標です。

電子通信部門

通信ネットワークで
電力の安定供給を
支える。

電力の安定供給に欠かせない情報を送受信するための、通信ネットワーク・設備の構築・運用を担う部門です。ICT・IoTサービスにより、中部電力グループの課題解決を図る取り組みも行っています。

中部電力パワーグリッド
名古屋通信センター 運用グループ

Chihiro Kakita

柿田 千尋 2008年入社

情報電子工学科卒業／沖縄県出身

入社動機

結婚・出産後も仕事を続けたかった。

やりがいのある仕事に就き、将来、結婚や出産後も働きたいと考え、生活に欠かせないインフラに関わる企業に興味を持ちました。同じ高専出身の先輩社員の話を聞いて、中部電力パワーグリッドは、福利厚生や子育て支援が充実した働きやすい会社だと感じました。特に電子通信部門では、高専で学んだ情報工学や電子工学の知識を活かすことができるだけでなく、デスクワーク主体の仕事もあり、ライフステージに合わせた働き方があると知り、ここで働きたいと強く思いました。入社後は通信ネットワークの専門家として期待されていると感じながら、仕事に取り組んでいます。



仕事内容

営業所や発電所の通信ネットワーク設備に携わる。

通信ネットワーク設備は、電力の安定供給に必要な電力設備の運転・故障情報の伝達や、各家庭の電力使用量の見える化サービスなど、様々な目的で活用するのに不可欠です。部署の主力業務となる工事業務では、無線鉄塔に設置されたパラボラアンテナや、配電柱に張られている光ケーブルといった通信ネットワーク設備の設置や取替工事を、計画から現場施工まで一貫して管理。近隣の営業所から、大きなタービンが回る発電所まで、さまざまな現場へ足を運び、多くの設備に関わる面白さを味わいました。



仕事のやりがい

技術者としての経験を活かし、仕事と育児を両立。

結婚・出産を経て、現在はデスクワーク中心の仕事を担当しています。当社が保有する通信ネットワーク設備の一部、例えば地中管路をお客さまのインターネットケーブルを通す目的で貸し出すような場合の契約とその管理を行っています。契約の際には、工事業務で培った経験と知識を活かし、お客さまが作業をするうえで重要となる安全性に関する項目を定めています。在宅勤務を活用できる今の担当業務は2歳と5歳、2人の育児と両立しやすく、日々進化する情報通信技術を学び続けられる楽しさを感じながら続けています。



CAREER PATH

技術力に加え、お客さまとの対話や調整のスキルも備えた人材に。

2008年4月～2014年7月 通信設備の点検や工事

営業所、変電所、発電所などで、電力保安通信設備の点検・修理と工事管理を経験。現場の理解を深めると同時に、計画的に業務を進める方法を学びました。

2014年8月～2018年6月 ネットワーク運用担当

支社管内の通信ネットワークの監視や、障害発生時の復旧指令を任せられ、電力の安定供給における通信ネットワークの重要性を再認識しました。

2018年7月～2020年10月 通信センターを運営

本社や他部署からの依頼事項を取りまとめる運営業務に加え、支社のICT推進活動にも携わり、新たな挑戦に伴う苦勞と楽しさを経験しました。

2020年11月～ お客さまとの契約調整

法人との契約に関する調整を担当し、電力の安定供給と安全性を確保しつつ、業務が円滑に進む内容の契約を締結できるよう、調整力や対話力を磨いています。

他部門の
役に立てることが
やりがい。

中部電力パワーグリッド
通信ネットワークセンター IP技術グループ

Ryuji Kida

喜田 竜司 2016年入社

電気工学科卒業／兵庫県出身



設備工事や、社内外へのICT活用による課題解決提案業務を経験し、現在は新しいIP機器やOSの検証を担当しています。大規模な障害につながる要因を見逃さないよう、緊張感を持ち細心の注意で検証します。入社時に聞いた通り、通信部門は他部門や関係会社をサポートする「縁の下の力持ち」。高度な技術の壁にぶつかっても、職場の仲間のおかげでモチベーションを保ち、力を発揮できています。Pythonを学んで作業の自動化にも挑戦し、自分の仕事就是他部門の役に立つやりがいを味わっています。

2016年4月～2020年10月 電力通信設備の保守・工事

初めの3年間で技術の基礎を学ぶとともに、品質・コスト・納期・安全・作業環境への責任を自覚したことが、今も仕事のベースになっています。

2020年11月～ 課題解決提案や機器検証を担当

影響力の大きな仕事に、技術を活かし責任を持って臨んでいます。

責任が大きい分、
貢献している
実感がある。

中部電力パワーグリッド 名古屋支社
名古屋通信センター 工事グループ

Mikuni Shiraishi

白石 深邦 2023年入社

情報システムコース卒業／福岡県出身



本社や支社、発電所、変電所などを結ぶ通信ネットワーク設備の工事を、自分で担当する他、同僚の工事に立ち合って知識を学んでいます。入社1年目に経験した工事では、周辺設備を計画的に停止し、無事に完了できました。施工会社や変電・配電部門などとの調整の重要性を実感するとともに、それらの業務で社会に貢献できた手応えを感じています。今後はさらにレベルの高い業務やIPネットワーク設備の構築業務を担い、故障設備の早期復旧に貢献できる技術者をめざします。

2023年4月～2024年1月 研修で基礎技術を習得

研修は高専の知識をベースに理解でき、コンフィギュレーション審査も経験。機器異常対応演習や電柱の昇降訓練など実践的な学びもありました。

2024年2月～ 機器や通信線路の工事業務

設備取替やケーブル改修など設計・施工管理経験を積んでいます。

技術コンサルティング部門

エネルギーにまつわる

お客さま企業の課題を

技術で解決する。

エネルギー販売だけでなく、カーボンニュートラルの
実現や工場の生産性向上、コストダウンなど、お客さま
が抱える多様な経営課題に対して、最適な解決策を
提供。お客さまがめざす未来を、独自のソリューションで
共に創ります。

中部電力ミライズ
法人営業本部 ソリューションセンター

Yuhei Irei

伊禮 悠平 2018年入社

電気情報工学科卒業／岐阜県出身

入社動機

日本が誇るモノづくりをエネルギーで支えたい。

日本のモノづくりは、高度な技術力と強いこだわりでミリ単位の精度を実現しているが、世の中では安価な海外製品の方が受け入れられています。高専時代にそのことを知り、「日本の技術力がもったいない!」と感じました。日本のどの工場でもエネルギーをうまく使用・管理することで、製造時のエネルギーコストを低減できれば、日本のモノづくりの発展に貢献できるのではないかと考えていたとき、中部電力ミライズがエネルギー以外にもあらゆる面からお客さまの課題解決に取り組むソリューション活動を行っているを知り、入社を決意しました。



仕事内容

工場の安定稼働をかなえる蓄電システムを設計。

雷が発生した際に、部屋の照明がチラッとした経験があるかと思います。これは瞬間停電で日常生活においては小さなことでも、工場では生産ラインが停止し、数千万円の損害につながることもあります。その対策の一つとして、電源異常時でも安定した電力を供給する蓄電システムを、設置から保守までまるごと引き受けるサービスを提供しています。私はシステムの設計・施工・保守などのプロジェクト管理を担当。「停電時でもクリーンルームの電源は絶対に必要」など、お客さまのモノづくりへのこだわりに応じて蓄電システムの性能や配置を決め、パートナー企業と一緒に理想の製造ラインを完成させます。



仕事のやりがい

電圧低下の影響からお客さまを守れた。

落雷による電源異常は年間で数十回発生します。そんなとき、「お客さまの操業が止まってしまうのか」と心配になりますが、提案した蓄電システムによる電源対策が正しく機能し、操業を守れた・操業に影響がなかったとの報告を受けた時には、安心と喜びを強く感じます。日頃からお客さまと同じ目線で課題に取り組み、プロジェクトの発足時からシステム導入に至るまでを、お客さまやパートナー企業を含めた多くの人や技術、想いを繋げてやり遂げた成果であるため、プロジェクトが達成できたときの喜びは特別なものを感じます。



CAREER PATH

基礎となる技術と、お客さまの視点を学び、ソリューションに挑む。

2018年4月～2020年7月

測定や分析を習得

法人営業グループに配属。お客さま工場内の冷凍機やコンプレッサーといった設備の最適運用を提案するために、稼働測定やデータ分析の基礎を先輩や上司の下で現場を見ながら学び、提案活動に従事しました。

2020年8月～2021年7月

お客さま企業に出向

半導体工場に出向して、受電設備の改造や、蓄電池設備の撤去、太陽光発電の設置といった大型工事のプロジェクトマネジメントを担当。現場での課題やモノづくりへのこだわりをすぐ近くで学び、お客さまの視点に立ち理解する重要性を学ぶことができました。

2021年8月～

課題解決に取り組む

蓄電池設備の設計・施工・保守プロジェクトマネジメントを担当。課題のヒアリングから始まるため、培ってきた技術力とお客さま視点を活かし「電力会社に求められることは何か？期待以上の提案はできないか？」を考えながら臨んでいます。

今はないサービスも

創り出せる

可能性が魅力。

中部電力ミライズ
静岡営業本部 法人営業部

Kazuma Maeda

前田 一真 2014年入社

電気電子工学科卒業／三重県出身



技術コンサルティング部門では、工場や大型商業施設などエネルギー使用量の多い法人のお客さまが抱える脱炭素・生産工程改善・DXといった課題を発掘。解決につながる技術サービスをご提案し、プロジェクト実施やアフターフォローまでトータルで支援します。太陽光発電による「創エネ」や、「省エネ」、EV充電などの「活エネ」の他、必要なら新サービスを創造し、定型業務ではない挑戦ができるのが魅力。技術力を磨いてサービスの規模を全国へ広げ、社会課題の解決に携われたらと思っています。

CAREER PATH

2014年4月～2019年7月 **ソリューションや設計を経験**

工場や商業施設の省エネ提案などを通じて、お客さまへの提案や課題発掘の方法などを習得。空調の専門技術も学びました。

2019年8月～ **脱炭素の課題解決策をお客さまに提案**

新サービス開発を経て、現在は脱炭素分野を担当しています。

誰もが知る

大手企業を

最前線で担当。

中部電力ミライズ
法人営業本部 東京営業部

Shiho Takeuchi

竹内 志帆 2022年入社

環境都市工学科卒業／長野県出身



高専では土木・建築を学んでいましたが、台風による大停電で真っ暗な街を目の当たりにして電気の大切さを実感し、中部電力ミライズに入社しました。現在はお客さまと接する最前線で、電気・ガスのご契約継続や新規契約のための営業活動に加え、ソリューションスタッフと連携して課題解決提案を行っています。誰もが知る社会的影響力の大きな企業の課題解決に貢献し、直接「ありがとう」の言葉をいただけるのがやりがい。店舗やビルの室内環境のご提案をする際には、建築系の知識も活かしています。

CAREER PATH

2022年4月～2024年7月 **ソリューション提案を経験**

製造業や小売業、飲食店、病院など多様な業種のお客さまを担当。法人営業の基礎を学び、信頼関係を構築する力を身につけました。

2024年8月～ **アカウントマネージャーとして最前線へ**

大手企業などお客さまとミライズの最初の接点を任されています。

土木部門

水力発電の「ダム」には
土木技術のすべてが
活かせる。

ダムや再生可能エネルギー・原子力の発電設備、
変電所など、多様な設備の建設・改良・保守を担い
ます。自社設備を扱う「インハウスエンジニア」として、
ダムの運用ルール作りなどにも関わります。

本店 再生可能エネルギーカンパニー
水力事業部 運用システムグループ

Kenta Misawa

三澤 健太 2016年入社

環境都市工学科卒業／長野県出身

入社動機

身近なダムをはじめ多彩な仕事に惹かれた。

幼少期から身近にあったダムに興味を持って育ち、高専の土木系で学ぶ中で土木と水力発電の関わりを知って、さらに興味を持ちました。また、大型構造物であるダムに携わる仕事は、土木工学の知識をすべて活かして、やりがいも大きいと思いました。中部電力には発電所や変電所の基礎工事、発電施設の運用などの仕事もあり、ダム以外にもやりたいことを選べる可能性を感じました。実際、高専の土木系学科出身者は、土木技術を追求する業務にも、発電全体を管理する業務にも、幅広くチャレンジできる環境が社内にはあり魅力に感じます。



仕事内容

電力ニーズをとらえた最適な発電運用ルールを定める。

現在の仕事を一言で表すと、水力発電に関する運用ルール作りです。電力は貯めておけないため、いつどれだけ発電するかを調整する必要があります。ダムの水量が豊富ではないタイミングで電力ニーズが急増した場合に、どう応えるか。電力ニーズに対応するため一気に発電を増やせば、放水される下流の河川への影響が大きいため、そうならないような対応ルールを定める業務を担っています。それには、入社当初に現場で学んだダムの運転操作と、中部電力ミライズで培った電力調達や電力取引の知識が活かされています。



仕事のやりがい

水力発電ならではの保守と運用の醍醐味。

以前に担当した発電設備の維持・修繕の業務においては、水力発電所の導水路に設置されていた制水門の撤去検討を担当。流量、流速などから制水門を撤去しても水槽排砂門から水の排出が可能かを検討したのですが、学生時代の学びを生かすことができました。現在の発電運用業務の面白さは、工夫次第で発電量や収益のアップを実現できること。例えば、電力需要が増えると電力の価格が高くなりやすいため、そのタイミングで多く発電できるよう、運用ルールを作ります。そのルールに沿って運用されることで、会社の収益に貢献する手応えを感じています。



CAREER PATH

電力をつくる・売る経験を積み、すべてをマネジメント業務で活かす。

2016年4月～2018年3月

現地で基礎を学ぶ

山奥まで足を運び、ダムや発電設備の規模感や迫力を肌で感じながら水力発電設備の基礎知識を習得。高専で学んだ水理学が役立つ経験もしました。



2018年4月～2019年7月

ダムの運転操作を担当

ダム運用業務を担当し、交代勤務となり、洪水時のダム運用を経験。十分に計画し、慌ただしい対応業務の中でも適切に判断する、責任感と充実感を味わいました。



2019年8月～2021年7月

電力を売る立場を経験

中部電力ミライズで、必要な電力を調達する需給管理と、電力の市場売買を行う電力取引業務を経験。つくった電力がどう売られるかを学び視野が広がりました。



2021年8月～

ダムの運用や計画

水力発電所の運用・計画といった発電のマネジメント業務を担当。これまで経験した、電力を「つくる」「売る」両方の視点を存分に活かしています。

07 土木部門

想定通り

いかないときは

成長のチャンス。

本店 再生可能エネルギーカンパニー
岐阜水力センター 技術課

Mizuki Ito

伊藤 瑞姫 2017年入社

環境都市工学科卒業／福井県出身



水力制御システムの維持管理担当として、日常的な点検を行い、故障時にはすぐ現場に駆けつけてメーカーと協力し復旧します。故障リスクを減らすため、予防的な設備取替も行いますが、それにもかかわらず大雨や雷で設備が故障し、発電を停止せざるを得ないことも。そんな場合はスキルアップのチャンスととらえ、設備障害を少しでも解消すべく、前向きに試行錯誤します。いち早く発電を再開できたときの手応えと、水力によるクリーンエネルギーで生活や社会を支えられる実感が仕事の魅力です。

CAREER PATH

2017年4月～2020年12月 水力発電設備と操作を学ぶ

土木工事と保全、運転・監視を経験した後、気象に左右される大自然の水を相手に、放流操作や取水調整のスキルを身につけました。

2021年1月～ 発電所の維持管理を担当

知識を広げ、水力発電のキーとなる技術者をめざしています。

土木工事の醍醐味と

電力設備ならではの

達成感がある。

中部電力パワーグリッド
基幹系統建設センター 土木建築グループ

Masaki Sukenaga

助永 雅紀 2018年入社

環境都市工学科卒業／広島県出身



コンクリート工学や構造力学などの知識を活かし、変電所の機器取替に伴う土木基礎工事の担当として、構造計算から積算、施工管理までを行っています。鉄筋コンクリートによる基礎構築、基礎を支えるコンクリート杭や鋼管杭の打設といった作業には、まさに土木工事の醍醐味があります。運転中の変電所での工事では、感電災害をおこさないように安全対策を実施しながら工事を行います。無事故無災害で完工できた時の達成感は、他社では経験できない大きな魅力です。水力をはじめとする多様な電力土木工事に携わることが、今後の目標です。

CAREER PATH

2018年4月～2023年6月 ダムの巡視や運用を経験

降雨時や異常発生時の迅速な現場対応、降雨出水時のダム放流対応を経験。実際の土木設備がどのように使われているのかを学びました。

2023年7月～ 変電所土木工事を担当

基礎設計や現場管理を学びながら、モノづくりを経験しています。

建築部門

電力供給を支える

多様な建物の

一生に携わる。

安全で自然災害に強い発電所や変電所、人が快適に働ける事務所など、多様な建物の建設・改良・保守を担う部門。計画から撤去まで建物の一生に携わり、電力の安定供給を支えます。

中部電力パワーグリッド
長野支社 建築グループ

Shogo Hirai

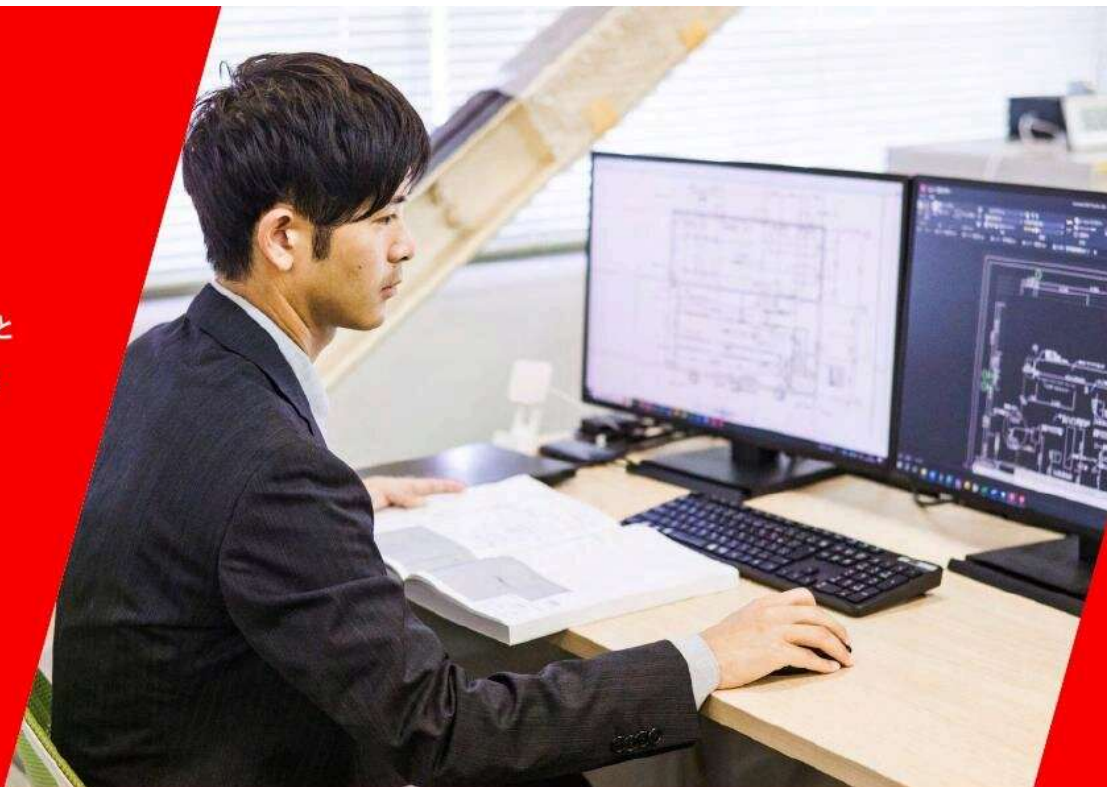
平井 蕉伍 2014年入社

建築学科卒業／富山県出身

入社動機

多様な電力建物に携われる魅力。

ゼネコンでは経験できないような幅広い業務に携われる建築の仕事がしたいと考え、興味を持ったのが中部電力でした。扱う建物の種類は、水力をはじめとする発電所や変電所の建物、電力供給を支える建物から事務所まで多様です。業務の内容も、設計や工事管理の他、メンテナンスに携わり完成後の建物を長期にわたり活かし続けることもでき、コストを抑える工夫で会社の経営にも貢献できます。こうした仕事の魅力と、社会生活に欠かせない電力の安定供給を建築の専門技術で支えられることに惹かれ、入社を決意しました。



仕事内容

改善提案を盛り込み使いやすい建物を。

発電所や変電所にある建物の、新設や修繕工事に携わります。現在は、老朽化した変電所の廃止を受けて、電力の供給力を維持するため駅前に立地する変電所を増築する工事を担当しています。敷地が狭く、線路も近いという難しい施工条件の中、関係部署と綿密に調整しながら、工程管理や品質管理を進めています。建物を使用する部門の要望に応えることが仕事の基本ですが、「こうすればもっと使いやすい建物になるのではないか?」といったより良い提案をするように心がけています。それができるのは、まさに自社の建物ならではの。



仕事のやりがい

お客さまと働く仲間両方に貢献できる。

発電や変電などの設備は、どれが欠けても電力をお客さまのもとへ届けることができません。自ら設計や修繕をした建物を通じて電力を途切れさせず供給する重要な役割に、誇りとやりがいを感じます。事業所の建物に関しては、そこで働く人と同じ仲間である社内の建築技術者だからこそ、不具合があってもスピーディに改善でき、質の高い職場環境を提供できていると思っています。いろいろな建物を経験して幅広い知識を学べる成長感や、思いを反映させた「自分の家」をいくつも手がけたような満足感もあります。



CAREER PATH

経験を積むごとに、現場の規模と担当範囲が、着実に広がる。

2014年4月～2016年7月 小規模な修繕を経験

変電所や事業所建物の小規模修繕工事を担当。業務の知識に加え、段取りの大切さや、目的を考えて仕事に臨む姿勢を、一から上司や先輩に教わりました。



2016年8月～2020年3月 変電所の新設を担当

施工直前になって、建物の新設場所に電力ケーブルが敷設されていることが判明し、計画の見直しが必要に。最初の計画を慎重に行う重要性を学びました。



2020年4月～2023年7月 水力発電所新設に参加

複数の水力発電所新設プロジェクトで、建物の計画・設計を担当。大規模な現場に携わり最後までやり遂げたことが、大きな自信になりました。



2023年8月～現在 工程と品質全体を管理

駅前に立地する変電所の増築工事を担当。関係部署と調整する力の大切さをあらためて心に刻みながら、スムーズな工事進行を心がけています。

高専でのモノづくりが
よりよい発想に
役立っている。

本店 再生可能エネルギーカンパニー
水力事業部 運営・技術グループ

Nana Oba

大庭 奈々 2016年入社

建築学科卒業／岐阜県出身



古くなった水力発電所の外装リニューアルや、ダム管理所の空調・照明設備の入れ替え、発電機を取替工事に合わせた建物の改修、各部門の要望を受けて行う改修工事など、多彩な現場に携わっています。よりよい建物にするための提案を行うこともあり、高専の模型製作や実験で、自分の発想を活かしてモノづくりを実践した経験が役立っています。さまざまな経験を積んでさらに発想力を鍛え、少ないコストで大きな効果を生み出す提案ができる、水力分野の建物の社内専門家をめざします。

CAREER PATH

2016年4月～2023年7月 多彩な工事と設計を経験

年間約30件の工事に携わり、基礎知識を習得。その後、営業所の空調設備改修や変電所新設などの設計に携わり、知識を広げました。

2023年8月～ 数少ない水力発電所の建築技術者に

発電所建物の工事や点検、新設に携わり経験を積んでいます。

意匠に構造、設備。
建築のすべてに
関われる。

本店 浜岡原子力発電所
土木建築部 建築課

Tomoki Kuwabara

桑原 朋樹 2019年入社

建築学科卒業／愛知県出身



経年劣化した建物を健全に保つ工事の、設計や施工管理を行っています。一般的な建築の仕事では、意匠と構造、設備が分業化されている場合が主流。それに対して中部電力の建築部門では、すべてに関わって建物全体をマネジメントできることが、仕事の大きな魅力です。幅広い知識が必要になりますが、日々の業務の中で身につけ、着実に知識の幅を広げることができています。建物を使う部署の人や施工会社の担当者とのコミュニケーション力も高め、頼れる建築技術者へ成長したいと思っています。

CAREER PATH

2019年4月～2021年11月 送配電の流れと工事を学ぶ

電気がお客さまへ届くまでの流れを理解するとともに、変電所建物など重要な建築設備の維持管理を学びました。

2021年12月～ 原子力発電所建物の工事業務を担当

原子炉建屋など特殊な建物の知識を学び、一級建築士資格も取得。

中部電力 新卒採用サイト

CHUBU ELECTRIC POWER RECRUITING INFORMATION

部門の詳細や福利厚生などについてはこちら ▶

